

嶺北地域アクションプランの進捗状況等について

H 2 5 . 8 . 2 9
嶺北地域本部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

嶺北地域では、核となるプレイヤーが複数の取組を行っている現状であり、各分野で新しい担い手やリーダーの人材育成が急務となっている。

そのため、各分野ごとの担い手育成の取組に加えて、4町村が連携した観光・交流人口の拡大や移住促進の取組の中で、U・Iターンによる地域外からの担い手確保の取り組みにも力を入れている。一方で、地域内の人材育成として嶺北高校と連携して将来の担い手の育成にも取り組んでいる。

本年度の嶺北地域の28項目のアクションプランについては、概ね計画に沿って事業が進捗しつつある。なお、計画が遅れていた「土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興」の取り組みについては、造成工事が着手され、畜舎の建築準備が進められるようになった。

また、奈良県立大学及び京都光華女子大学短期大学部と嶺北地域観光・交流推進協議会との連携協力に関する包括協定を締結し、継続的な取り組みが仕組化された。

更に、大阪圏都市部（行政、民間団体）との連携方針がほぼまとまり、二地域居住を含む、人的・物的交流への取り組みが始まろうとしている。

(2) 具体的な動き

① 地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>“れいほく”ブランドの園芸産地の確立及びユズ加工品の販売促進</p> <p>■No.1 れいほくブランドの園芸産地の維持（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 土佐れいほく（園芸部会、花き部会） ・ 直販生産部会土佐町支部 	<p>[目標（H27）]</p> <p>れいほく八菜 販売額：1.6億円 れいほく八菜 生産者数：136人 研修による新規就農者数：8人（累計）</p> <p>れいほく八花 販売額：1.1億円 直販売上額：9.5千万円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>れいほく八菜 販売額：1.6億円 れいほく八菜 生産者数：170人 研修による新規就農者数：8人（累計）</p> <p>れいほく八花 販売額：1.2億円 直販売上額：8.5千万円</p> <p>[取組状況] (担い手育成)</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.2 ユズ産地の確立と加工・販売の促進 (本山町、大豊町、土佐町)</p> <p>《事業主体》</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経営実態調査(部会、モデル農家2戸) ・啓発:現地検討会1回、個別巡回2回、個別面談1回 (れいほく八菜) ・JA各生産部会の現地検討会(10回) ・天敵の推進講習会(2回)、天敵リレー(2回) ・栽培管理指導(土壌溶液分析)(4回) ・販売促進企画会議(5回) ・販売先の拡大:1店舗(県外) (れいほく八花) ・栽培管理巡回指導(10回) ・土壌分析による施肥指導(4回) ・ノーブルを中心とした販売促進活動の検討(2回) (直販) ・栽培講習会(8回) ・現地巡回指導(2回) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>(担い手育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な担い手確保 ⇒関係機関、農業者が一体となった取組の推進 <p>(れいほく八菜)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹品目(米ナス、シシトウ、ピーマン)の栽培確立 ⇒生産技術の向上、病害虫対策の向上 ・販売促進活動などによる販売拡充 ⇒販売拠点(コープかがわ)の充実と消費宣伝 県内市場及び大阪市場の販売強化 <p>(れいほく八花)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノーブルの高品質・安定生産技術の確立 ⇒ノーブルの球根供給システムの確立と生産技術向上の体制づくり ・市場への販売促進活動 ⇒県外(東京)商談会(H26・1月)への参加を計画中 <p>(直販)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直販生産者の生産量の増 ⇒栽培管理指導による出荷量の増及び品質向上 <p>[目標(H27)]</p> <p>加工品販売額:6億円</p> <p>[H25到達点]</p> <p>加工品販売額:4.5億円</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・ 嶺北地域果樹（ゆず）産地協議会 ・ J A土佐れいほく 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸出候補園地決定（大豊町 15a、土佐町 50a） ・ 個別巡回指導（3回） ・ 生態（着花状況等）調査（7回） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ユズ加工品の販路拡大 ⇒ 国外への販促活動の強化
<p>J A 出資型法人を核とする地域活性化の取組</p> <p>■ No. 6 J A 出資型法人を核とする地域活性化の取組（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A土佐れいほく ・ (株)れいほく未来 ・ 米米ハート 	<p>[目標（H27）]</p> <p>農業経営事業（園芸）売上高：3,000万円 研修による新規就農者数：3人（累計） 事業主体への新規雇用数（累計）：2人 米粉等の販売額：1.6億円</p> <p style="padding-left: 40px;">内訳 4,000万円（米粉等） 5,000万円（米粉パン等） 7,000万円（ブランド米等）</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>農業経営事業（園芸）売上高：1,207万円 研修による新規就農者数：0人（累計） 事業主体への新規雇用数（累計）：1人 米粉等の販売額：1.55億円</p> <p style="padding-left: 40px;">内訳 2,500万円（米粉等） 5,000万円（米粉パン等） 8,000万円（ブランド米等）</p> <p>[取組状況]</p> <p>（農業経営事業、米関連事業、農作業受託事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作付実績：園芸作物 86a、新規需要米 210 a ・ 農作業受託：水稻 591a、ハウス 30a ・ 育苗事業販売額 38,672 千円 （野菜 5,924 千円、花 8 千円、水稻 32,741 千円） <p>（米粉事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こうち農商工連携基金事業の採択（事業費：4,254 千円） れいほく未来、とさ千里、嶺北高校の連携による新商品、 米粉加工品の販路拡大の取組 ・ 商談会への参加（1回） ・ 作付実績：米粉用米 16ha <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業体（J A 出資型法人）の経営の安定化 ⇒ 中期経営事業計画（5ヶ年）の実践支援

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・米粉・米粉加工品の販売拡大 ⇒農商工連携基金事業の効果的な活用 (新商品を用いた販売促進活動等への実践支援)
<p>肉用牛産業の再興及び土佐はちきん地鶏の振興による畜産業の展開</p> <p>■No.8 土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興(本山町、土佐町、大豊町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA土佐れいほく ・(株)れいほく未来 ・飼養者 ・本山町 ・大豊町 ・土佐町 <p>■No.9 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化(大川村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)むらびと本舗 ・大川村 	<p>[目標(H27)]</p> <p>土佐あかうしの販売額: 2.1億円</p> <p>[H25到達点]</p> <p>土佐あかうしの販売額: 2億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畜舎建築予定地の造成準備 ・繁殖雌牛4頭導入(累計20頭) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畜舎建築予定地の早期造成 ⇒関係者による事業内容の協議(計画的な施設整備) ・飼育担当者の飼養管理技術の向上 ⇒飼養管理技術の向上支援(現地指導等) <p>[目標(H27)]</p> <p>黒牛の販売額: 8.2千万円 はちきん地鶏出荷羽数: 10万羽</p> <p>[H25到達点]</p> <p>黒牛の販売額: 7.0千万円 はちきん地鶏出荷羽数: 7万羽</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶏舎の改築(換気・結露・害獣対策) ・繁殖雌牛1頭導入 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の飼養管理技術の向上 ⇒職員の飼養管理技術の向上支援(現場指導等) ・繁殖雌牛の増頭及び高齢牛の更新 ⇒計画的な繁殖雌牛の保留
<p>嶺北材の増産及び販路拡大</p> <p>■No.10 間伐の推進と素材生産の拡大(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林所有者 	<p>[目標(H27)]</p> <p>素材生産量: 150,000 m³</p> <p>[H25到達点]</p> <p>素材生産量: 100,000 m³</p> <p>[取組状況]</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・森林組合 ・素材生産事業者 ・自伐林家 <p>■No. 11 れいほくスケルトン(嶺北材の邸別販売)の促進(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株) SUN SHOW ・レイホク木材工業(協) ・吉野川リビング(協) ・土佐町 	<ul style="list-style-type: none"> ・架線集材システム支援事業による支援(4事業者9箇所) ・森林組合連合会と連携し、増産に向けた経営指導の実施(1森林組合) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木増産体制の整備 ⇒搬出間伐の補助を受けるための計画作成支援 皆伐、再造林への支援 <p>[目標(H27)]</p> <p>木材の出荷量: 900 m³</p> <p>[H25到達点]</p> <p>木材の出荷量: 540 m³</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外工務店社員研修受入(1回) ・納材実績: 16棟、266.19 m³ <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期の「れいほくスケルトン」の基準作り ⇒関係者と次期展開に関する検討・協議の実施
<p>大型製材工場の設置</p> <p>■No. 15 大型製材工場の設置による地域材の利用の促進(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知おおとよ製材(株) ・大豊町 	<p>[目標(H27)]</p> <p>製材品の生産量: 55,000 m³</p> <p>[H25到達点]</p> <p>製材品の生産量: - m³</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高知おおとよ製材」採用者の就業(17名:累計24名) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木供給体制の整備 ⇒関係機関と連携し、原木市場を中心とした供給体制の整備検討
<p>地産外商の促進</p> <p>■No. 18 土佐産直サテライトセンター(とさ千里(大阪))の活性化による地産外商の促進(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)とさ千里 ・J A土佐れいほく ・土佐町 	<p>[目標(H27)]</p> <p>土佐産直サテライトセンター(とさ千里)の販売額: 1.2億円</p> <p>[H25到達点]</p> <p>土佐産直サテライトセンター(とさ千里)の販売額: 0.85億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗、HPのリニューアル(4月) ・催事(5月・7月・8月催事の他、週末毎のカツオのタタキ実演販売など) ・地域産品商談会参加(5月)等による新商品の導入

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県大阪事務所での木曜日 (23 回) ・ 県大阪事務所からの依頼出店 (8 月、9 月) ・ 「てんこす」「まるごと高知」からの情報提供 (毎月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来店者増 (売上増) に向けた取り組み <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 地域住民をリピーターとして確保するための品揃え (生鮮野菜、日配品、パン) 催事開催による新規誘客 県による支援 (木曜市の継続、てんこす等の情報提供、県人会等へのPR)
<p>嶺北地域の連携による交流人口の拡大</p> <p>■ No. 19 嶺北地域の連携による交流人口の拡大 (嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 嶺北地域観光・交流推進協議会 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>公共関連宿泊施設での宿泊者数 : 12,000 人</p> <p>新たな旅行商品となる体験メニュー数 : 5 件 (累計)</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>新たな旅行商品となる体験メニュー数 : 3 件 (累計)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 嶺北地域の旅行商品化の動き <ul style="list-style-type: none"> 商品化 : (1 社協議中) (8 月 16 日現在) 催行 : 2 社・20 本 778 名 (7 月 21 日実施分まで) ・ 大学と連携した商品磨き上げの取組 <ul style="list-style-type: none"> 大学 : 3 校 (県外 3 校) ・ エリアキャンペーン (4/1~9/30) 実施 <ul style="list-style-type: none"> インターネットツール (ブログ、フェイスブック等) での情報提供 ・ 観光人材育成塾「とさ旅セミナー」への参加 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域観光のコーディネート組織 (人) の機能強化 ・ 次年度以降の協議会の事務局体制の検討 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 嶺北地域観光・交流推進協議会で検討

②上記以外で特記すべき取組

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.4 米のブランド化による稲作農業の展開 (本山町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本山町ブランド化推進協議会 ・ (財) 本山町農業公社 ・ 本山町酒づくり協議会 ・ ばうむ合同会社 ・ 本山町 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>ブランド米の販売額：1 億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ブランド米の販売額：5,000 万円</p> <p>[取組状況]</p> <p>(ブランド米)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栽培管理指導 (4 回) ・ 田んぼアートの実施 ・ 栽培面積 31ha、生産者 39 戸 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>(ブランド米)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産者価格の向上 <p>⇒直接販売増の取組の実施</p>
<p>■No.5 (株) 大豊ゆとりファームを核として 地域資源の活用により地域産業を持続化さ せる取組 (大豊町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (株) 大豊ゆとりファーム ・ 大豊町碁石茶協同組合 ・ 大豊町 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>碁石茶関連商品の総販売額：0.5 億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>碁石茶関連商品の総販売額：0.2 億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 碁石茶の販促活動 <p>新規取引先：4 社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クールベジタブルの販促活動 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 碁石茶の茶葉、加工品の販路拡大 <p>⇒商談会への出展等による新たな取引先の開拓</p>
<p>■No.7 直販所「本山さくら市」を核とした地 域活性化の取組 (本山町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本山さくら市運営委員会 ・ (財) 本山町農業公社 ・ 本山町 	<p>[目標 (H27)]</p> <p>販売額：1.8 億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>販売額：1.42 億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農薬適正使用講習会 (1 回) ・ 先進地視察研修 (1 回) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>商品、情報発信機能の充実</p> <p>⇒栽培講習会、PR 活動等の継続実施</p>
<p>■No.24 滞在型市民農園の推進による地域の 活性化 (本山町)</p>	<p>[目標 (H27)]</p> <p>町内移住者：30 人</p>

取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本山町 	<p>[H25 到達点]</p> <p>町内移住者：15人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の利用開始（6月9日） ・ 施設利用者（4組9人） ・ 町内移住者（13組16人） ・ 県外相談会への参加（6回、相談者46名） ・ 施設利用者と地域住民との交流活動 2回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 滞在後の移住への移行 ⇒施設利用者と地域の交流機会の拡大
<p>■No. 25 嶺北地域の連携による移住促進の取組（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ れいほく田舎暮らしネットワーク ・ 本山町 ・ 大豊町 ・ 土佐町 ・ 大川村 	<p>[目標（H27）]</p> <p>移住者数：100人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>移住者数：50人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 移住促進連絡会の開催（5回） ・ 県外での移住相談会への参加（7回） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局体制の整備 ⇒町村、れいほく田舎暮らしネットワーク、県により協議
<p>■No. 27 地域内高校と連携した将来の担い手育成に関する取組（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (株) れいほく未来 ・ 嶺北高校 ・ 本山町 ・ 大豊町 ・ 土佐町 ・ 大川村 	<p>[目標（H27）]</p> <p>商品提案数：5件（累計）</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>商品提案数：3件（累計）</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米粉等を利用した新商品の開発及び販路開拓 こうち農商工連携基金事業を活用し、(株)れいほく未来・(株)とき千里・嶺北高校による6次産業化の取組を展開中 ・ 連携事業者の開拓 ・ 連携事業者向けの試食会 1回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生が主体的に動き出すキッカづくり ⇒高校生を主体とした模擬会社化の体制づくり

2 平成 25 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
該当なし		

3 地域アクションプランの追加、修正、削除（予定）項目

[追加] 該当なし

[修正] ■No.4 米のブランド化による稲作農業の展開
 （理由）米焼酎の製造所の完成に伴い目標値を設定

[削除] 該当なし

4 県民参画に向けた取組

(1) 各種会議での説明・PR

実施日	会議等の名称	説明・PR等の内容
4月19日	土佐町部落長会	第2期計画
4月24日	大豊町商工会理事会	〃
4月30日	大豊町区長会	〃
5月23日	大豊町森林組合理事会	第2期計画（資料配布のみ）
5月23日	本山町商工会総会	第2期計画
5月27日	土佐地区商工会総会	〃

(2) その他

文書でのPR

- ・産業振興計画シンポジウムの案内・・・3 地区商工会、4 町村森林組合、4 町村、フォローアップ会議委員、JA、嶺北高校 ほか

5 相談案件 1 件

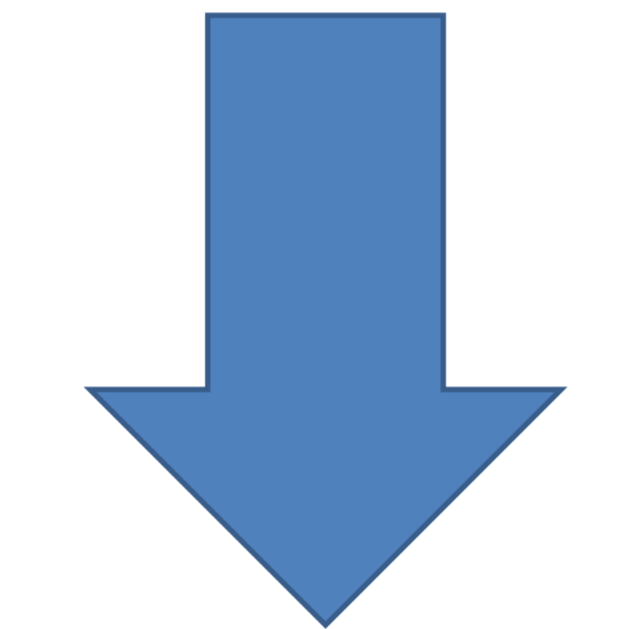
NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	H25. 4. 1 H25. 6. 10	飲食店	町内に安定して土佐あかうしを提供できる飲食施設を整備したい。

修正項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
4 米のブランド化による稲作農業の展開 《本山町》	消費者が求めるブランド力のある米の生産により、価格のアップを図り、後継者が将来に展望を持つことができる稲作農業を確立するため、良好な水田環境など地域の特性を付加価値とすることや、室戸海洋深層水を栽培過程で使用する事による新ブランド米「天空の郷」の定着と加工品の開発による発展を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・本山町ブランド化推進協議会 ・(財)本山町農業公社 ・本山町酒づくり協議会 ・ばうむ合同会社 ・本山町 	<ul style="list-style-type: none"> ・本山町特産品ブランド化協議会によるブランド化の取組(販売促進への支援と栽培技術の徹底指導等)(H21~23) ◆平成20年度に設立した本山町ブランド化協議会では、米・食味鑑定士協会長や有名な米販売店の講演会が開催され、ブランド米生産への活動の方向性が定まった。 ◆ブランド米の名称を、公募により「土佐天空の郷」に決定した。 ◆美味しい米作りのための栽培基準を作成し、基準に基づいた栽培技術指導の徹底により、本格的な生産が始まった。 ◆米の販売促進活動を全国展開し、100店舗以上で米の販売が行われた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産者と生産量の増 ・直接販売の増等による生産者価格の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ブランド米の生産増、販路拡大
			<ul style="list-style-type: none"> ・産振総合補助金の導入(H21~23) ◆色彩選別機や米選機等の導入により、高品質な商品として出荷できる体制が整った。 ・コンクールへの出品(H21~23) ◆お米のコンクール(お米日本コンテストinしずおか)で優勝し、ブランド米としての知名度があがった。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ブランド米を活用した加工品開発 	

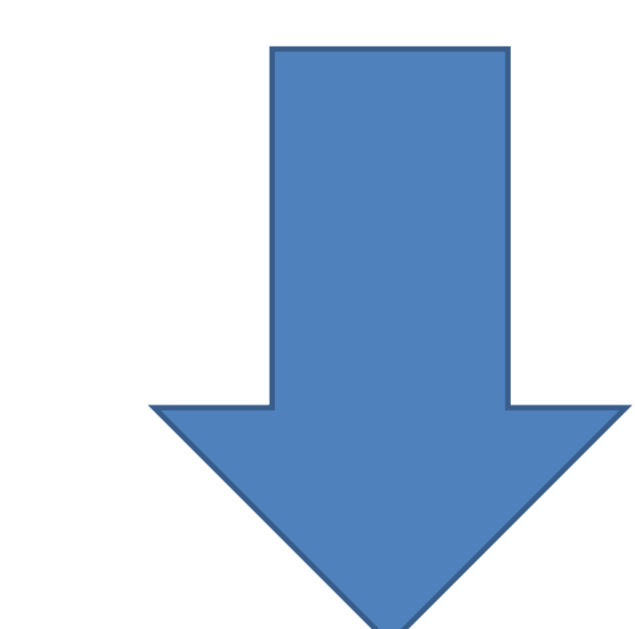
修正前



項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
4 米のブランド化による稲作農業の展開 《本山町》	消費者が求めるブランド力のある米の生産により、価格のアップを図り、後継者が将来に展望を持つことができる稲作農業を確立するため、良好な水田環境など地域の特性を付加価値とすることや、室戸海洋深層水を栽培過程で使用する事による新ブランド米「天空の郷」の定着と加工品の開発による発展を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・本山町ブランド化推進協議会 ・(財)本山町農業公社 ・本山町酒づくり協議会 ・ばうむ合同会社 ・本山町 	<ul style="list-style-type: none"> ・本山町特産品ブランド化協議会によるブランド化の取組(販売促進への支援と栽培技術の徹底指導等)(H21~23) ◆平成20年度に設立した本山町ブランド化協議会では、米・食味鑑定士協会長や有名な米販売店の講演会が開催され、ブランド米生産への活動の方向性が定まった。 ◆ブランド米の名称を、公募により「土佐天空の郷」に決定した。 ◆美味しい米作りのための栽培基準を作成し、基準に基づいた栽培技術指導の徹底により、本格的な生産が始まった。 ◆米の販売促進活動を全国展開し、100店舗以上で米の販売が行われた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産者と生産量の増 ・直接販売の増等による生産者価格の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ブランド米の生産増、販路拡大
			<ul style="list-style-type: none"> ・産振総合補助金の導入(H21~23) ◆色彩選別機や米選機等の導入により、高品質な商品として出荷できる体制が整った。 ・コンクールへの出品(H21~23) ◆お米のコンクール(お米日本コンテストinしずおか)で優勝し、ブランド米としての知名度があがった。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ブランド米を活用した加工品開発 	

修正後

第2期計画					H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	指標		目標値(H27)	
ブランド米の生産増、販路拡大					→	ブランド米の販売額 (H20:417万円) (H22:3,120万円)	1億円
ブランド米の生産増、販路拡大							
美味しい米づくりの栽培法の検証							
消費者との交流等による産地のファン作り							
ブランド米を活用した加工品開発					→	ブランド米の販売額 (H20:417万円) (H22:3,120万円)	1億円
新たな商品開発(ブランド米中米を活用した焼酎生産と施設整備)							
ブランド米中米を活用した焼酎の販売促進活動							
ブランド米中米を活用したその他の加工品の開発と販売促進活動							



第2期計画					H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	指標		目標値(H27)	
ブランド米の生産増、販路拡大					→	ブランド米の販売額 (H20:417万円) (H22:3,120万円)	1億円
ブランド米の生産増、販路拡大							
美味しい米づくりの栽培法の検証							
消費者との交流等による産地のファン作り							
ブランド米を活用した加工品開発					→	焼酎の販売本数	17,800本
新たな商品開発(ブランド米中米を活用した焼酎生産と施設整備)							
ブランド米中米を活用した焼酎の販売促進活動							
ブランド米中米を活用したその他の加工品の開発と販売促進活動							